

具体的な収穫

<ワークショップに関するもの>

ワークショップの企画と運営の仕方が学べた

教員にワークショップの経験がないと今後,授業に取り入れられない。

授業でワークショップをしようと思った

今日のワークショップそのものが授業形態になりうること

今回のようなワークショップ形式の授業をしてみようと思った

<授業をする上でのヒントの入手>

他の先生方の実践を学べた

生徒に使えるネタを手に入れられた

授業のネタが手に入ったのが嬉しい

来年度の情報の授業に使えるネタをたくさんもらった

評価,ネタ,生徒一人ひとりのログイン(バッチファイル)

評価の方法

様々な授業の取り組みを知ることができた

各先生がたの授業のノウハウを知ることができた。

<情報共有による安心感>

色々なアドバイスをもらって肩の力を抜くことができました。

情報の共有,先生方の体験談を聞けて良かった

みんなよく似た悩みを持っていることがわかり安心し、少しは解決策も見つかった。

自分と同じような悩みを抱えた先生がたくさんおられて安心しました。

同じ内容で悩んでいるのがわかった

みんな同じことを悩んでいて何とかしようとしていることがわかった。

同じような問題点で困っている先生方が多いことがわかった。

他校の先生との情報交換

< その他 >

情報機器がすごく進歩してくるのを知って使いたくなった。

いわゆる座学と実習の中間があってもよいとわかった

柴田先生の講演の中で印象的だったこと

<ネットワークの重要性>

ネットワーク

ネットワークの重要性

ネットワークが情報

情報は、ネットワークがキーワードであるというところ

ネットワークがもっと広がるといいなと感じた。

ネット「輪」ークだと思えるお話でした

<こだわり>

教材は,素材集を使わない

素材集を使わないという態度

素材集は使わないということ

私もデザイン嫌いなのだが,頑張ってみたいと感じた

作品作りがカッコ良くではなく,あったかい手作りであるところが,原点に返ってフレッシュな感じがした

名刺作りや4コマ漫画など同じような活動でも工夫があってなるほどと思う点がたくさんありました

授業へのこだわりベスト5

授業と評価の5つのこだわり

<評価について>

情報モラルのT型指導について

普段の注意が指導内容そのものであるという認識をもって授業にのぞみたいと思いました

観点別評価を4つとも1時間の授業でやる必要はないのでは!

評価については、観点別の考え方に賛同したい

プレゼンテーションの評価方法を段階を踏んでしけいけばよいというお話

生徒の評価に対する評価を忘れないようにするということ

シラバスの書き方や評価方法について

シラバスの公開もやってみたくなった

<わかり易かった>

話が具体的であったのでよかった

ワークショップも講演の一部のように単に聴くだけでなかったので良かったです アドバイスや授業方法が,現場の苦労をふまえた人のお話だとかんじられて納得した

< その他 >

教科を越えた連携を行う必要性

ワークショップに関する今後の工夫

<時間に関すること>

時間配分

時間設定の難しさを感じた

時間配分とワークショップのネタ

時間がもう少し欲しい

<事前の準備ができたら>

事前の準備をして公開できれば,もっとスムーズだったかも

事前の準備

事前にウェブなどで意見を求めておくともっとよいかも 開催目的が事前にもっとわかるようにして欲しい 予備ワークショップ

<運営方法について>

テーマの切口

一つのテーマに絞って勉強していくのも良いかも 新しい動向なり技術,流行の情報を少し入れたらどうか? ポイントを絞った議論があれば良かった 発表の工夫

< 肯定的な評価 >

雰囲気が参加しやすかった リラックスしてワークショップに取り組めることが大事だと思います 今回のファシリテータは,円滑に進めてくれて非常によかった ファシリテータの重要性